



# 8.交通・観光分野

---

北陸新幹線の効果

# 分析データ

## 【参考URL】

- [北陸新幹線開業2年、開業効果続く。旅館は全国2位の稼働率、新ホテル ...](#)
- <https://www.hotelier.jp/inboundnews/data/20170426.html>
- [石川県の土地価格相場・地価公示価格ランキング・坪単価 - 土地代データ](#)
- <https://tochidai.info/ishikawa/>
- [大特集】金沢の公示地価 2017年 | 金沢まちゲーション](#)
- <http://kanazawamachigation.com/landprices/4391/>
- [平成27年度石川県地価調査 調査結果の概要 - 石川県ホームページ](#)
- <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/documents/27gaiyou-exl.pdf>

図表 1-1 北陸新幹線金沢開業前後の比較

	開業前利用者数	開業後利用者数	同左倍率	利用者増加数
実際	314 万人	926 万人	295%	612 万人
当初予想	314 万人	690 万人	220%	376 万人

(出所)各種資料より当行作成(一部数字は JR 西日本発表資料・報道等からの逆算推計)

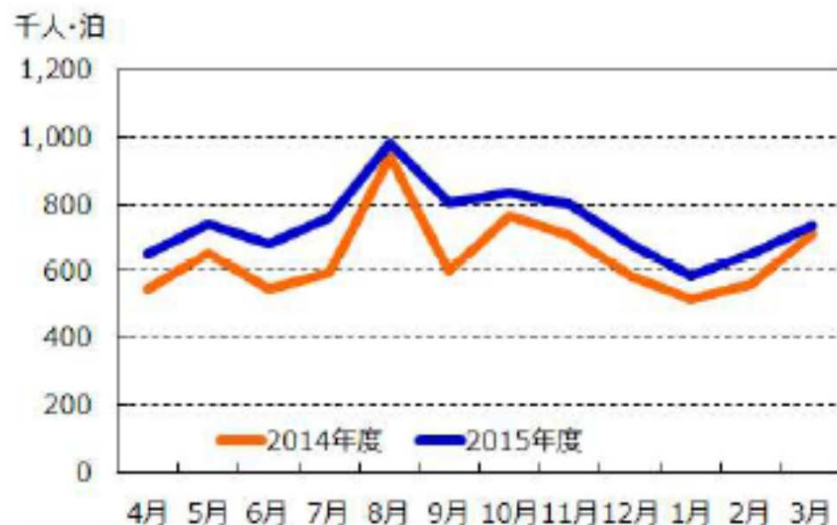
- 2015年3月14日に開業した北陸新幹線の利用者数は、開業前の約3倍となる926万人となり、当初予想を大幅に上回った。2年目となる2016年度になっても、多少利用者数は減少(858万人)したが、開業前を大きく上回る高水準を維持している。
- 冬期間の利用者(60万人/月～70万人/月)は、多少少ないが、ゴールデンウィーク以降は、70万人/月～90万人/月の利用者が推移してきている。

図表 1-2 北陸新幹線の利用状況

	利用者数 万人	同左 前年比	累計 万人	同左 前年比
2015年 3月(3/14~)	49	273%	49	
4月	69	321%	118	
5月	90	346%	207	
6月	75	322%	282	
7月	76	305%	358	
8月	92	264%	450	
9月	82	308%	532	
10月	90	319%	622	
11月	87	319%	709	
12月	66	282%	775	
2016年 1月	61	241%	836	
2月	62	265%	898	
3月(~3/13)	28	237%	926	295%
3月	61	125%	910	273%
4月	64	93%	64	
5月	77	86%	141	
6月	65	87%	206	
7月	72	95%	278	
8月	88	96%	366	
9月	73	89%	439	
10月	81	90%	520	91%
GW : 4/28~5/8	32	96%	N/M	

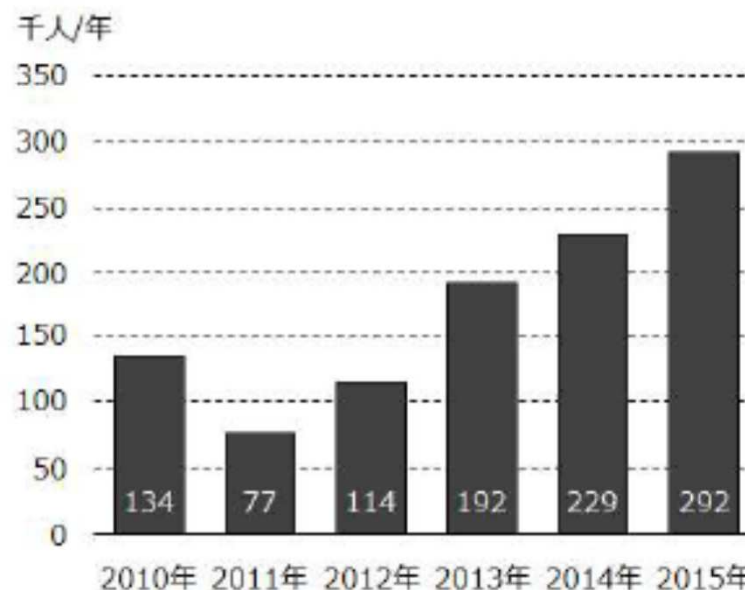
- 宿泊施設の予約がしづらい傾向にあり、旅館の稼働率は全国2位の54%、シティホテルは全国10位の80%と非常に好調である。
- 上記のようなことから、現在、ホテルの進出計画が多く、金沢駅周辺では7つ、武蔵～香林坊間では10以上のホテルの進出計画が出てきている。

図表 4-1 石川県延べ宿泊者数動向



(注)公表資料は暦年ベースであるが、一部速報値を使用し年度ベース算出  
 (出所)観光庁「宿泊旅行統計調査」より当行作成

図表 4-2 兼六園外国人観光客動向



(出所)石川県「統計からみた石川県の観光」等から当行作成

図表 3-1 航空旅客東京便利用動向



図表 3-2 北陸新幹線と飛行機の比較

	北陸新幹線		飛行機	
	東京－高山	東京－金沢	羽田－高山	羽田－小松
時間(最速)	2時間8分	2時間28分	1時間00分	1時間05分
料金	12,530円	13,920円	8,890円～ 27,390円	9,390円～ 27,390円
1日便数	かがやき18往復 はくたか15往復		ANA4往復	ANA4往復 JAL6往復
年間輸送容量 (2015年)	2,318万人		74万人	159万人
年間利用者数 (2015年)	926万人		46万人	103万人

(出所)ANA、JAL公表資料、JR時刻表等より出行作成  
 (注1)飛行機：2016冬ダイヤ、料金は2016年12月8日時点(向253ヶ月)  
 (注2)新幹線：2016年12月ダイヤ、料金は指定。年間輸送容量ははくたか・かがやき(16年6月ダイヤ)東京－金沢の往復本数×12両編成定員934人と仮置きし便宜的に算出

- 北陸新幹線の開業により、航空機の利用者数が大きく減少し、その結果、航空各社は機材の小型化、減便(運航便数の減少)が余儀なくされた。
- 敦賀延伸時のさらなる利用者減少による減便等が懸念されることから、その対策が必要になると考えている。

図表 5-3 北陸新幹線金沢開業後の観光需要増加による石川県内への経済波及効果

				(億円)
	直接効果	間接一次効果	間接二次効果	合計
石川県	454	144	81	678

(注) うち日本人観光客(156億円)・ビジネス客(21億円)による直接効果は177億円

図表 5-4 経済波及効果に対する感応度

				(億円)
	入込客数 (5万人回増えた場合)		単価 (1000円増えた場合)	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
日本人観光	24	8	45	96
日本人ビジネス	20	3	24	13
インバウンド観光	62	-	4	-
インバウンドビジネス	74	-	2	-

(注) 数字は、それぞれのセグメントで、入込客数および単価が増えた場合のもの。例えば、日本人観光客・宿泊が5万人増加すれば、経済効果の増加分は24億円となり、日本人観光客・日帰りが5万人増えた場合は経済波及効果は8億円増加する。

- 観光需要増加による石川県への経済波及効果は、直接効果454億円、間接効果225億円、合計678億円と推定される。

# 新幹線開業後の並行在来線問題

## (1) 経営・運営上の課題

先行事例(しなの鉄道、IGRいわて銀河鉄道、青い森鉄道、肥薩おれんじ鉄道)の研究が不可欠

## (2) 運行・利用促進上の課題

長期的需要予測と運賃体系の検討  
利便性向上による利用促進が不可欠

上記の課題に対して、石川県は5～6年前から、その対策をとってきた。具体的には、以下のとおりである。



## (1)「IRいしかわ鉄道会社」の経営計画(設備投資等)

JR西日本との協議等により、設備投資額は、  
全体で概ね80～85億円程度。

- ①車両は、5編成全てを2両ユニットの新型車両(521系車両)とし、うち3編成は、数年間走行した車両を新車価格の1/3程度の低廉な価格で取得。
- ②線路等の鉄道資産は、不要な資産を整理し、低廉な価格で取得。  
なお、JR西日本は、経営分離前に必要な修繕を実施。
- ③敦賀延伸時に取得予定であった金沢駅の駅舎(鉄道施設)を取得費用の平準化の観点から、先行して取得。

## (2)「IRいしかわ鉄道会社」の経営計画(設備投資等)

JR西日本との協議等により、

### ※ 指令システム

開業から概ね2年間は、JR西日本の現行の指令システムを利用し、「あいの風富山鉄道会社」が石川、新潟エリアも含め、一体的に運行管理する予定。

その後は、「IRいしかわ鉄道会社」はJR西日本と連携した新たな指令システムを構築し、運行管理を実施する予定。(平成28年度以降)

### (3)「IRいしかわ鉄道会社」の経営スキーム

#### 経営スキームに関する事項

##### (1) 資本金

- ①総額 20億円程度
- ②出資 県は14億円、市町は4億円、民間は2億円程度出資

##### (2) 運行支援基金

- ①総額 30億円程度  
(金沢以西開業までの11年間の需要に対応)
- ②使途
  - ア) 乗継割引支援 ……13億円程度
  - イ) 運賃値上げ抑制 ……3億円程度
  - ウ) 開業後投資・災害復旧等 ……14億円
- ③負担: 県と市町は15億円ずつ負担し、民間からの協力も要請

## (4)「IRいしかわ鉄道会社」の運賃水準

### 運賃水準

	1～5年目（激変緩和）	6～11年目
定期外（普通運賃）	1.14倍程度	1.19倍程度
通勤定期	1.14倍程度	1.19倍程度
通学定期	1.00倍程度	1.05倍程度
平均値上げ率	1.09倍程度	1.14倍程度

\* 先行事例と比較して最も低い水準となる。

○ 定期外・通勤定期・通学定期の平均値上げ率

→ 先行事例

青い森鉄道：1.34倍、IGRいわて銀河鉄道：1.71倍

しなの鉄道：1.45倍、肥薩おれんじ鉄道：1.28倍

→ JR三島会社（JR本州三社比）

JR北海道：1.16倍、JR四国：1.12倍、

JR九州：1.13倍

- 上記の並行在来線対策によって、心配された経営の赤字化は回避され、黒字を維持してきている。

## IRいしかわ鉄道 利用促進アクションプラン

### 開業前からの取り組み

- 1) 広報活動の推進
- 2) サポーター制度の導入
- 3) 金沢駅 お客さまカウンターの設置

### 関係団体、地域住民と連携した取り組み

- 1) パーク&ライドの推進
- 2) 駅舎の活用による沿線地域の活性化
- 3) サポートキャラバンの実施
- 4) 駅を活用した賑わい創出
- 5) 駅舎の環境美化活動
- 6) 駅周辺ガイドマップの作成 など

- 一方、北陸新幹線開業の効果を全県に普及させるための対策も行ってきた。具体的には、平成18年度ごろから、下記の取り組みを行ってきた。

平成18年度…… 新幹線開業影響予測調査

新幹線開業後の首都圏居住者の石川県への入込客数、  
石川県民の首都圏への移動数及び経済効果について推計

平成19年度

STEP21戦略研究会 (Shinkansen Two-way Exchange Plan 21)

平成20年度

STEP21戦略会議……北陸新幹線金沢開業に向けた  
アクションプラン(STEP21)の中間とりまとめ

(1)観光誘客拡大(14項目)

(2)魅力ある交流基盤づくり(11項目)

(3)産業・地域づくり(13項目)

# 新幹線開業に向けた対策

## (北陸新幹線金沢開業に対応した戦略)

### (1) 観光誘客拡大(14項目)

- (1) 魅力ある観光地づくり
- (2) 戦略的な情報発信
- (3) 受け入れ体制の整備
- (4) 広域連携の推進

### (2) 魅力ある交流基盤づくり(11項目)

- (1) 回遊性の向上
- (2) まちの魅力を高め、交流拡大につながる拠点の整備・充実
- (3) にぎわいのあるまちづくり

### (3) 産業・地域づくり(13項目)

- (1) 地場産業等の新ビジネス展開
- (2) 企業誘致等による産業基盤の強化
- (3) 農林水産業の振興
- (4) 地域づくり

平成21年度

STEP21戦略会議……重点プロジェクト

(1)もてなしの向上

- ・県民のホスピタリティ意識の向上
- ・観光案内と地域情報の充実
- ・観光客にやさしい観光地づくり

(2)食文化の魅力向上

- ・県産材の魅力向上と普及促進
- ・石川ならではの食文化の魅力発信
- ・食文化の魅力を高める食空間の提案

(3)歴史・景観を活かした地域づくり

- ・観光地の環境保全
- ・歴史・自然景観の魅力向上
- ・地域の賑わいづくり



## STEP21リーディング・プロジェクトの例

### おもてなしの向上

○多言語による石川県ガイドウェブサイト作成プロジェクト  
(団体名:外国人旅行者おもてなし推進会)

○「海外エージェント・メディアへの情報発信による  
外国人観光客誘客プロジェクト  
(団体名:**The Real Japan**いしかわプロジェクト推進協議会)

○いしかわ観光ガイドタクシー推進プロジェクト  
(団体名:石川県タクシー協会)

○音楽による石川探訪プロジェクト  
(団体名:いしかわ音楽の探訪実行委員会)

- 以上のように、北陸新幹線開業を見据え、4～5年前から、各種開業効果を全県にいきわたらすための取り組みを行ってきている。
- このようなことから、北陸新幹線開業後、金沢駅周辺を中心に土地利用に対する需要が増大し、公示地価が上昇してきた。具体的には、石川県内の平均地価は0.1%下落し、前年度より1.2ポイント回復した。この改善幅は全国1位であり、急速に地価が回復している。
- また、石川県内の商業地平均地価は前年比1.6%の上昇となり、石川県の商業地平均地価が上昇に転じた。これは24年ぶりのことである。特に、北陸新幹線の開業効果が大きく表れ、全用途で金沢市が1.9%の上昇、野々市市が1.1%の上昇となった。
- そして、最も注目すべきは、七尾市の和倉温泉、加賀市の山中温泉、片山津温泉、山代温泉、輪島市の朝市通りでも地価が上昇し、統計を取り始めて初めて、地価が上昇に転じた！